キッズハウスいちごしぜん　支援プログラム

～　なちゅらるに　夢中になって　まなぼう　～

営業時間 (サービス提供時間)	8:00～18：00 (9：00～17：00、14：00～17：00)	送迎の有無	あり (地域については応相談)

項目	ねらい	支援目標	支援内容	支援プログラム
健康・生活	・健康状態の維持 ・生活のリズムや生活習慣の形成 ・基本的生活スキルの獲得	・身の回りの清潔や食事・排泄など生活するうえで必要なスキルを習得していく。 ・健康な心と健康な身体づくりにつながるよう人との関わりをもっていく ・生活の中で、さまざまな遊びを通して学習できるよう環境を整える。	・手を洗う・トイレ時の排泄手順など、必要に応じて視覚支援を用いて支援していく。 ・事業所内で過ごすなかで、様々な遊びや療育を通して時間や空間を本人に分かりやすいよう視覚的な提示を行い、構造化にも配慮する。	・トイレトレーニング ・手洗い・衣服の着脱・整理整頓などの身辺自立 ・構造化によるこどもたちへの提示物
運動・感覚	・運動機能の向上 ・体力向上 ・感覚の発達促進	・自然体験や農作業、調理、木工制作などを通し粗大運動や微細運動を行っていく。 ・さまざまな遊びを通し、危険認知能力、空間認知能力や身体の調整力などを身に着けていく。	・自然体験や農作業、調理、木工制作、屋外活動などで身体を動かすことで、運動機能向上につなげる。また、さまざまな自然に触れていくことで五感を刺激し感覚を楽しめるよう支援していく ・上記活動を通しさまざまな状況・場面を経験することで生活の中で応用できるよう支援していく。	・自然体験(川遊び、デイキャンプ、散歩　等) ・農作業 (土づくり、草ぬき、肥料つくり、野菜づくり等) ・調理 (おやつ作り、昼食作り、収穫した野菜の調理等) ・木工制作 (廃木材を用いた家具作り、作品作り　　等) ・その他 (おが屑を用いた着火剤作り、廃材を用いた作品作り 栽培した植物を用いた石鹸作り　等)
認知・行動	・認知の発達と行動の習得 ・空間・時間、数、大小、色等の概念形成の習得 ・対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得	・自然体験や農作業、調理、木工制作などを通し、視覚、聴覚、触覚の感覚を十分に活用し、必要な情報を収集して認知機能の発達を促していく。 ・文字や数など概念を知り、日常生活に般化していく。	・マッチングやゲームを活用し認知の幅が広がるよう支援していく。 ・さまざまな活動を楽しみながら空間、時間、数、大小、色、遠近などの概念が理解できるよう支援していく ・視覚的なスケジュールを活用し、見通しを持ってもらいつつ周りの情報を習得し行動につなげるという認知過程の発達を支援していく	・鬼ごっこ、だるまさんが転んだなど共通のルールを用いた集団遊び ・自然物の観察、収集 ・ブロックなど立体物を使用した創作プログラム
言語 コミュニケーション	・言語の形成と活用、語彙力の向上 ・言語の受容及び表出 ・コミュニケーションの基礎的能力向上 ・コミュニケーション手段の選択と活用	・言葉の受容や表出の力が伸びていく ・指さし、言葉/絵カード、ジェスチャーなどで意思を相手に伝える機手段を増やしていく。 ・「伝える/聞く」の喜びを感じる	・言葉の表出/受容方法として絵カードや言葉など個々に応じてコミュニケーションスキルの向上につなげていく ・文字や名詞を覚えたり、コミュニケーションに必要な力がつくよう支援していく ・対大人とのやりとりから、友達同士へのやりとりへ広がるよう環境設定を行う ・活動のルール決めなどを行うことで自身の思いを伝える・相手の意見を受け止める機会を増やしていく。	・一日の振り返り、他者との関わりの振り返り ・絵カード・サインなどを使用したヘルプサインの獲得 ・複数人で行うゲームの実施 ・遊びのルール決め ・しりとり、伝言ゲームなどの言葉遊び
人間関係 社会性	・他者との関わり（人間関係）の形成 ・自己の理解と行動の調整 ・仲間づくりと集団への参加	・自己の理解とコントロールのための支援 ・集団への参加への支援 ・スケジュールを活用しながら過ごし社会性を習得していく ・一人遊びから協同遊びへの支援	・自己理解を深め、行動や気持ちのコントロール力向上につながるよう支援していく ・集団に参加するために必要なルールを経験・理解し遊びや活動に参加できるよう支援する ・ごっこ遊びなど、友達と役割分担を行い皆で楽しめる空間を提供していく ・集団での自然体験などを通し、協調性や社会性が身に付くよう支援していく。 ・自然体験などを通し気持ちを他者との関わりの機会を増やし、他者との関わりの楽しさを知っていく。	・各活動における役割分担及び分担決め ・自己紹介 ・チーム活動 ・異年齢同士関わりあいながらでの活動 ・他者との関わりの振り返り

関係機関連携 家族支援 インクルージョン 移行支援	方針	子供の成長・発達の基盤となる家庭環境を充実させ、インクルージョンを推進する視点を取りいれることで、事業所や保育所・学校等での生活の充実につながるよう支援していく
	支援内容	・こどもの発達状況や特性の理解に向けた相談援助、ペアレントトレーニング ・家族の子育てに関する困りごとに対する相談援助 ・兄弟への相談援助等の支援 ・子育てや障害等に関する情報提供 ・子供が通う保育所等・学校等との情報連携や調整・支援方法や環境調整等に関する相談援助等の取り組み ・将来的な意向を見据えて支援目標や支援内容を設定し本人への発達支援 ・子供が利用する相談支援事業所や障害福祉サービス事業所、他の障害児通所支援事業所との生活支援や発達支援における連携の取り組み

作成日：令和6年10月1日